

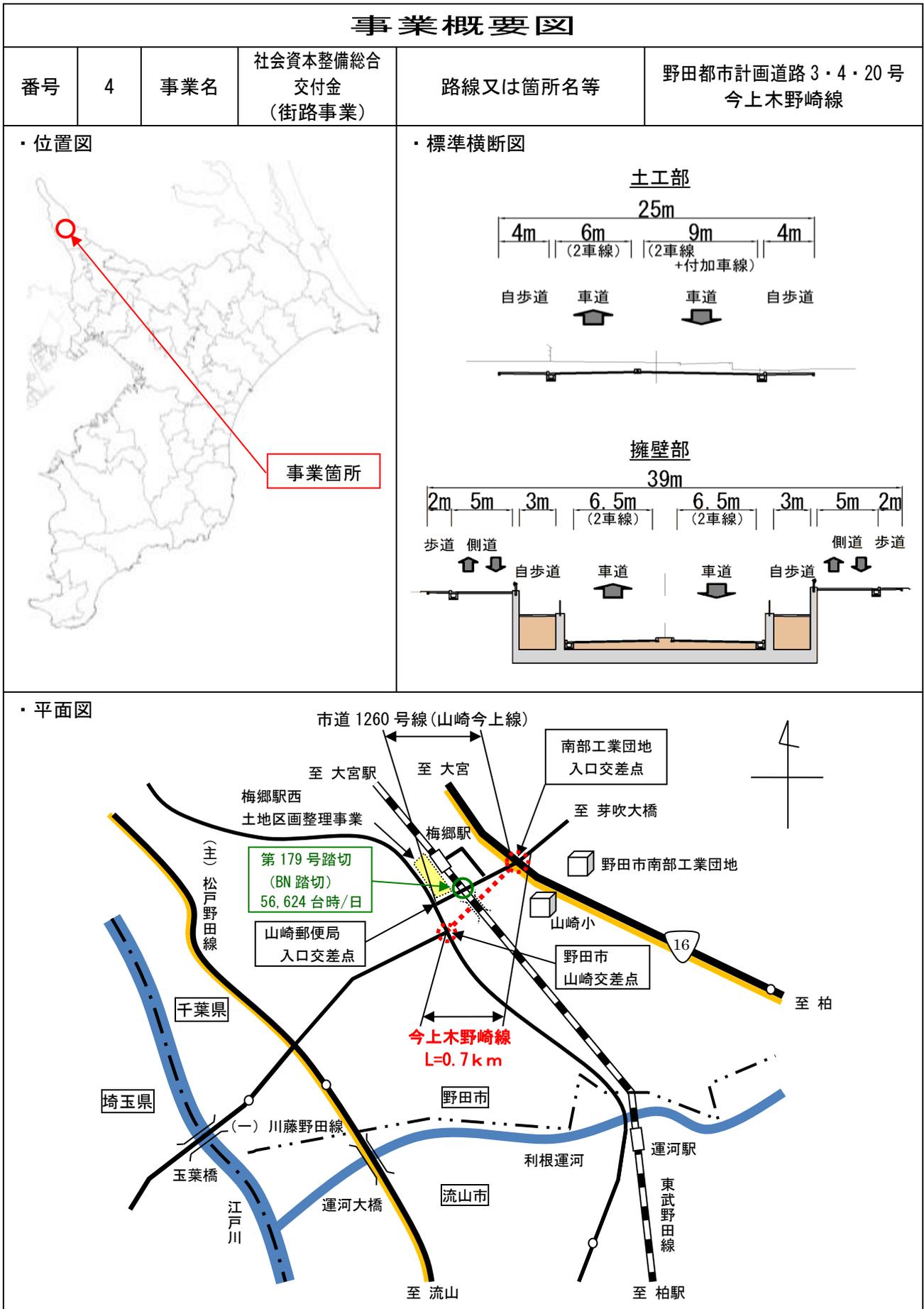
### 再評価実施事業調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合交付金 (街路事業)		路線又は箇所名等	野田都市計画道路 3・4・20 号 今上木野崎線			
事業所管課		道路整備課			事業主体		千葉県		
事業化年度	平成 24 年度	用地着手年度	平成 25 年 度	工事着手 (予定) 年度	令和 3 年度	再評価の理由	再評価		
費用便益比 B/C	2.3 (3.2)	総費用	68 億円 (47 億円)	総便益	152 億円 (152 億円)	基準 年	令和 2 年度	供用開始 年度	令和 7 年度

※上段：全体事業      下段 ( )：残事業

<p><b>【事業概要】</b>                  (目的)                  本路線は、江戸川に架かる玉葉橋と連絡する県道松戸野田線から、国道 16 号と交差し、県道我孫子関宿線に至る、東葛飾北部地域の新たな東西軸となる広域幹線道路である。                  野田市山崎交差点から国道 16 号に至るまでの市道 1260 号線では、慢性的に渋滞が発生しており、踏切部はボトルネック踏切となっている。                  本事業は、東武野田線との立体交差 (アンダーパス) を含む約 0.7 km を整備することにより、東西方向の道路ネットワークを強化し、梅郷駅周辺市街地に集中する交通渋滞の緩和やボトルネック踏切からの交通を転換し、市街地交通の円滑化を図るものである</p>														
<p><b>【事業の進捗状況】 (令和 2 年度末見込み)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画</th> <th>投資事業費</th> <th>残事業費</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (億円)</td> <td>82.0</td> <td>22.2</td> <td>59.8</td> <td>27.1%</td> </tr> </tbody> </table>						全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率	事業費 (億円)	82.0	22.2	59.8	27.1%
	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率										
事業費 (億円)	82.0	22.2	59.8	27.1%										
<p><b>【社会経済情勢等】</b>                  国道 16 号から玉葉橋までを結ぶ現道の交差点は、クランク形成をなしており、市道 1260 号線では、混雑度が高く渋滞が発生し、自動車交通量は 11,556 台/日、ボトルネック踏切の踏切交通遮断量は 56,624 台時/日となっている。</p>														
<p><b>【対応方針(案)】</b>    <u>継続</u>                  費用便益比 (B/C) が 2.3 (残事業 3.2) であり、費用対効果が見込まれる。                  整備効果として、野田市山崎交差点から国道 16 号までの南部工業団地入口交差点までの交通渋滞緩和や市道 1260 号線の交通が事業区間に転換し、交通の分散により安全性が向上する。                  また、踏切に起因する渋滞の緩和や搬送時間短縮による救命率の向上が図られる。                  事業完了目標を設定し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。</p>														

【別紙様式 4】



## 再々評価事業に関する調書

番 号	4	事 業 名	社会資本整備総合交付金 (街路事業)	路線又は箇所名等	野田都市計画道路 3・4・20 号 今上木野崎線	
事業化年度	平成 24 年度	用地着手年度	平成 25 年度	工 事 着 手 ( 予 定 ) 年 度	令和 3 年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成 28 年 度	供用開始 年度	平成 31 年度	対応方針	継続	
B/C	2.1 (2.4)	総費用	77 億円 (68 億円)	総便益	163 億円 (163 億円)	
(※上段：全体事業、下段()：残事業)						
再々評価時の委員会の意見 及び当時の状況						
○継続することが妥当である。						
再々評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況						
	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率		
事業費 (億円)	82.0	2.5	79.5	3.1%		
うち用地補償費	35.7	2.5	33.2	7.0%		
うち委託費、工事費	46.3	0	46.3	0%		
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	R 元年度	供用開始 年度	R3~R7 年度	対応方針	継続	
B/C	2.3 (3.2)	総費用	68 億円 (47 億円)	総便益	152 億円 (152 億円)	
(※上段：全体事業、下段()：残事業)						
現在の進捗状況						
	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率		
事業費 (億円)	82.0	22.2	59.8	27.1%		
うち用地補償費	32.8	19.9	12.9	60.7%		
うち委託費、工事費	49.2	2.3	46.9	4.7%		
再々評価後の 経過 及び 処理状況						